

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
比較文化概説 Introduction to Comparative Culture		全学科 (一般学生対象)	1年次 2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択		
概要				
日本の文化や風習を知り、自分の出身国（日本人の場合は外国）との違いを認識するとともに、異なる文化の存在への関心と理解を深める。				
到達目標				
(1) 日本の文化について説明することができる。 (2) 外国の文化と日本の文化の違いについて、テーマを選び、発表することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 Introduction 2 文化の違いとは何か 3 英語を母語とする国の文化①、プレゼンテーション 4 英語を母語とする国の文化②、プレゼンテーション 5 英語を母語とする国の文化③、プレゼンテーション 6 英語を母語とする国の文化④、プレゼンテーション 7 英語を母語とする国の文化⑤、プレゼンテーション 8 中間レポート提出、プレゼンテーション 9 World Englishes の現実、プレゼンテーション 10 世界の英語と文化①、プレゼンテーション 11 世界の英語と文化②、プレゼンテーション 12 世界の英語と文化③、プレゼンテーション 13 世界の英語と文化④、プレゼンテーション 14 世界の英語と文化⑤、プレゼンテーション 15 後半の振り返り、期末レポート提出				
テキストおよび 参 考 文 献	初回授業にて説明する。			
メ ッ セ ー ジ な ど	授業は日本語と英語で行います。英語は、日本の文化を外国人に伝えるために学びます。			

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 日本の文化について説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	50%
(2) 外国の文化と日本の文化の違いについて、テーマを選び、発表することができる。	テーマ設定が適切にでき、資料の提示や話し方もほぼ完璧である。	テーマ設定に大きな誤りがなく、資料の提示にも大きな問題がなく、話し方も一定の水準に達している。	テーマ設定に大きな誤りはないが、誤字、脱字がある。話し方も努力を要する。	テーマ設定が適切でなく、資料の作成や話し方も改める必要がある。	資料 口頭発表 （関心・意欲・態度・技能・表現力・判断力・思考力）	50%